

不動産・地域活性化シンポジウム2020

「50年先の世の中へ リ・スタートできるまちづくり」

- 求められる フューチャーストーリー -

主催 定期借地権推進協議会
協賛 一般社団法人 プレハブ建築協会
後援 一般財団法人 住宅生産振興財団
一般財団法人 都市農地活用支援センター
一般社団法人 全日本土地区画整理士会
一般社団法人 不動産協会
一般社団法人 日本型 HOA 推進協議会

趣 旨

「まち」や「住まい」に関する考え方が、時代とともに変化するなかで、最近では「空き家」や「所有者不明の土地」等の問題が顕在化しています。

今後50年から100年という単位で考えると、わが国の社会環境も大きく変容することが予測されるなかで、これからの「まちづくり」「住まいづくり」を考えるときには『未来の変化に対する備え』が必要ではないでしょうか。

このシンポジウムではこうした問題について、定期借地権制度も踏まえて有識者の方々にご議論を頂きます。

開催日時

2020年2月28日(金)
13:30~16:10
(13:05より受付開始)

会 場

経団連会館 8階
(住友林業株式会社 大会議室)

交通機関

地下鉄「大手町駅」直結
(東京メトロ千代田線・半蔵門線・丸の内線・東西線/都営三田線) 皇居
JR「東京駅」丸の内北口より徒歩約12分
東京メトロ東西線「竹橋駅」4番出入口より徒歩約4分

参加費

無料

お申し込み

どなたでもご参加頂けます。

参加者氏名・所属・連絡先をご記入の上、E-mailにて送信(お申し込み)下さい。

*定員(先着100名)を超えた場合は、会場の都合により、お断りさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

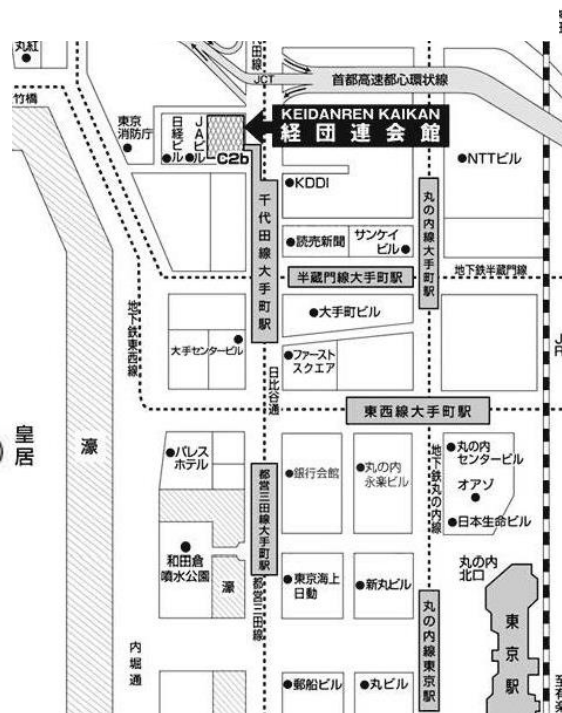
お問い合わせ

定期借地権推進協議会事務局

事務局：(株)プレイスメイキング研究所 担当：温井・桐原・野末

E-mail：common@placemaking.jp

TEL：029-846-1505



13:35~14:35 第一部 基調講演

『まちの リ・スタートを考える』

30分

千葉大学大学院 融合理工学府

教授 小林 秀樹 氏



●小林先生略歴

1977年東京大学工学部建築学科卒、和設計事務所を経て、80年同大学院建築学専攻修士課程修了、85年同博士課程修了。工学博士。建設省建築研究所、国土技術政策総合研究所を経て、2002年に千葉大学助教授。2003年に同教授となり現在に至る。11年～15年日本マンション学会会長。14年～17年東京都住宅政策審議会会長など。

【主な著書と受賞】

著書「スケルトン定借の理論と実践」「集住のなわばり学」「新集合住宅の時代」「住民主体の住環境整備」「居場所としての住まい」等多数。実践（計画）「メソッドつくばⅠ・Ⅱ」「団地再生LLP」他。受賞「日本建築学会賞（業績）、住宅総合研究財団清水康雄賞、都市住宅学会賞（論文、論説、著作）、日本不動産学会業績賞、日本マンション学会論文賞、他。

『コミュニティの リ・スタートを考える』

30分

横浜市立大学 国際教養学部

教授 齊藤 広子 氏



●齊藤先生略歴

筑波大学都市計画専攻卒業、大阪市立大学大学院生活科学研究科修了。英国ケンブリッジ大学研究員、明海大学不動産学部教授を経て、2015年より現職。社会資本審議会委員、マンション政策小委員会委員長、住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会会長、日本型HOA推進協議会会長等を務める。学術博士。工学博士。不動産学博士。

【主な著書と受賞】

初めて学ぶ不動産学-すまい・まちのマネジメント」「生活者のための不動産学への招待」「住環境マネジメント：住宅地の価値をつくる」「新・マンション管理の実務と法律：高齢化、老朽化、耐震改修、建替えなんて怖くない!」等多数。日本マンション学会研究奨励賞、都市住宅学会賞（論文）、日本不動産学会業績賞、都市住宅学会賞（論文）、日本不動産学会 著作賞、不動産協会 優秀著作奨励賞、日本建築学会賞（論文）、都市住宅学会 著作賞、日本不動産学会業績賞、都市住宅学会 業績賞、グッドデザイン賞、都市住宅学会論説賞 不動産学会論説賞都市景観賞等多数受賞

14:35~14:50〔休憩〕

14:50~16:00 第二部 パネルディスカッション「リ・スタートできるまちづくり」

コーディネート : 趣旨説明

定期借地権推進協議会 委員長 大木 祐悟 氏

■パネルディスカッション

司会進行 大木 祐悟 氏

70分

パネラー 小林 秀樹 氏

齊藤 広子 氏

○質疑

10分

16:10

終了

講演の演題につきましては変更になる場合があります。